さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています。

さいたま市立

与野東中学校

１　学校教育目標『希望（ゆめ）を実現する生徒～学べ・磨け・輝け～』
２　目指す学校像『誰からも愛され、誇れる学校』
３　指導の柱
「学べてよかった学校」「通わせてよかった学校」「勤務してよかった学校」
（１）生徒一人ひとりを大切にし、自己存在感、有用感を育てる学校
（２）安心・安全で潤いのある教育環境が整った学校

■所在地：さいたま市中央区下落合３丁目２１番１０号　　■電話：048-831-4527
■FAX：048-831-4505　　■交通：ＪＲ京浜東北線・高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅より徒歩７分

０１　生徒の安心・安全な学校生活のために

～東日本大震災から学ぶ防災教育～

本校では、地域と協力して、防災教育に力を入れています。具体的には、育成会と共催で、石巻市から講師の方をお迎えし、「震災を語り継ぐ会」を実施しています。と、同時に東日本大震災で津波の被害にあった大川小学校のヒマワリを代々育て、その輪を地域の小中学校に広げています。そのヒマワリは、大川小の児童のお母さんが、地震の日に子どもたちが目指した丘に植えた種から育った株の子孫です。津波被害を、そして各地で起こる災害を風化せず心にとどめ、思いやりのある優しい心を生徒たちに育んでいくと共に、いつ起こるか分からない災害に備え、自助、共助のスキルを身につけます。また、生徒会が中心となり、自然災害の被災地への募金活動を行い、助けあいの精神を学んでいます。

０２　質の高い教育をめざして

～主体的に学ぶ生徒の育成～

本校の生徒は、学習に運動に大変意欲的に取り組んでおります。教職員は、そんな生徒たちのニーズに応えられるよう、研修などを通じて、生徒たちに質の高い教育が行えるよう日々努力をしています。教育委員会から学力向上カウンセリングを受け、本校生徒の学力について、良い点や課題点を全教員が共有し、専門的な指導者を要請して研究授業を行います。また、校区の小学校と連携し、小中の９年間を通じて、主体的に学ぶことのできる生徒を育成しています。今後は、文科省の提唱するGIGAスクール構想実現に向け、一人一台の端末を使っての授業研究等、学習環境の充実に向け、さらに指導法の研究を行ってまいります。

０３　限りある資源を大切に

～ペーパーレス化の推進と資源の有効活用～

限りある資源を有効に活用するために、行事の案内や出欠確認など、今まで文書で家庭に周知していたものを極力学校安心メールを活用することにしました。そのことにより、大幅な紙使用量の削減ができました。さらに、不要になったプリント類などは、紙ごみとして処分するのではなく、リサイクル処理をするようにしています。生徒会では、ペットボトルキャップの回収などの取り組みを自主的に行い、生徒たちの、ものを大切にしていく心を育んでいます。

さいたま市教育委員会では　ＳＤＧｓ教育を推進しています。

さいたま市立
与野西中学校

【学校教育目標】

『心豊かな生徒』（ゆたかに）　『自ら学ぶ生徒』（かしこく）　『自己実現を目指す生徒』（たくましく）

【目指す学校像】

「生徒が希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する学校」

キャッチフレーズ　希望の登校　笑顔の活動　満足の下校

■所在地：さいたま市中央区鈴谷 8-10-33　■電話：048-852-6235
■FAX：048-852-6253　■交通：JR 埼京線　与野本町駅から徒歩 7 分

０１　地域とともにある学校づくり

（１）毎年、学区内をきれいにする体験を通して、地域に愛情をもつことを目的とした「校区環境美化活動」を行っています。生徒会を中心に企画・運営を行い、青少年育成与野西地区会、自治会、民生児童委員、浦和西警察、保護司会など、地域の皆様の協力をいただきながら実施しています。「校区環境美化活動」を通して、地域で生活している一員としての自覚と他者を思いやる心などを育むことができる内容を生徒会中心に議論し企画・運営にあたります。

（２）本校は令和３年度～令和５年度の３年間にかけて、さいたま市教育委員会から「安全教育」に関する委嘱を受け研究を進めてきました。今後はこれをゴールとせず、地域で生活する生徒ら自身が当事者意識を持って、安全意識の向上に取り組めるよう学校運営協議会やＰＴＡと協力して、また地域と連携しながら幅広く防災や安全についての研究を今後も推進していきます。

０２　地場産物を活用した食育の実践

ふれあい夢ファームや地元農家での農作業体験を実施します。また、地場産物を活用した給食を日々提供し、給食室からお昼の放送を通して食育を推進していきます。今年度も引き続き、世界の料理、日本各地の郷土料理や五節句など伝統的な行事食を提供する予定です。給食を通じて、日本及び諸外国の伝統や文化についての理解を深め、互いの伝統や文化を尊重し、異なる文化をもつ人々と共に生きていく資質や能力を育成していく。また、生徒が健全な食生活を実践し、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための望ましい食習慣を育成するため、教育活動全体を通して工夫ある食育を実践していきます。

さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています。

さいたま市立
与野南中学校

目指す学校像及びスローガン

力がつく学校　力のある学校　感動いっぱい与野南中

学校教育目標

進んで学ぶ生徒　心豊かな生徒　心身共に健康な生徒

学校経営方針―四つのキーワード―

1　確かで豊かな学び　　2　心身共に健康
3　潤いのある環境　　4　安全第一

■所在地：さいたま市中央区大戸 2-6-25　■交通：JR 埼京線　南与野駅徒歩 10 分
■電話：048-852-1579　■FAX：048-852-1937
■E-mail：yonominami-j@saitama-city.ed.jp
■URL：http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp

０１　SDGs17 の目標を意識した日々の授業実践

SDGs カレンダーに基づく教科横断的な授業

本校では、各教科等の授業において、SDGｓ１７の目標と学習内容との関連を明確にした、SDGｓカレンダーを作成を目指し、SDGｓの目標と学習内容の関連を意識した授業実践に日々取り組んでいきます。

『実践の内容』

（１）SDGｓ１７の目標について、カードを作成し、各授業時に関連する項目を紹介する。
（２）各教科ごとに関連する項目を整理した SDGｓカレンダーを作成する。
（３）校舎内に SDGｓ１７の目標を掲示し、SDGｓに対する意識を高められるようにする。

０２　「総合的な学習の時間」を活用した SDGs の実践

SDGs の視点を取り入れた「総合的な学習の時間」の取組

本校では、３年間の「総合的な学習の時間」を通して、SDGｓへの理解を深め、探究的な活動や発表を行い、実践に向けた活動を一人ひとりが模索していく活動に取り組んでいきます。

（１）修学旅行や自然の教室、校外学習等の取組を通して、SDGｓに関連する学習活動（史跡・自然・歴史・郷土等を調べ、体験を通して学んだ内容の深化）を行います。
（２）未来くるワーク体験や進路学習等キャリア教育の取組を通して SDGｓに関連する学習活動（企業・産業・資源・環境・技術開発・教育・働きがい等について調べ、体験等を通して学んだ内容の深化）を行います。
（３）SDGｓをテーマにした社会問題などについて調査や探究活動を行い、ICT を利用したプレゼンテーションやディベートなどを行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

さいたま市教育委員会では　ＳＤＧｓ教育を推進しています。

さいたま市立
八王子中学校

学校教育目標

大志を抱け　ひとみ輝く　八中生
―賢く　豊かに　逞しく―

■所在地：さいたま市中央区八王子４－２－１　■電話：048-854-8381
■交　通：「八王子庚申堂」バス停・徒歩３分　■FAX：048-854-8382

０１　「健康と命の大切さについて主体的に考える」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本校は３年前にさいたま市教育委員会・さいたま市学校保会からの委嘱を受け「健康と命の大切さについて主体的に考えることのできる生徒の育成」に取り組んできました。本年度も引き続き、自他を大切にする心を育む教育の実践に取り組んでいます。

①「*大切な私　大切なあなた*」性教育学習

心身ともに大きく成長する思春期に、命の大切さや「性」に関する正しい知識・理解を深めるため、さいたま市助産師会の助産師さんを招いて、自他を尊重する心情や態度を育むとともに自己肯定感・自己決定する力を高めていま

②「*今とこれからを生きる君たちへ*」健康教育への取組

健康教育を柱に、自他の健康と命の大切さを学び、協働して、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図っています。

０２　「緑ある住みよい街づくりについて考える」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本校の生徒の在り方として「美しい学校をつくります」「自主的に奉仕活動をします」等を示して教育活動にあたり、緑化活動を、それらを実現するための具体的な行動計画として位置付けています。生徒会が主催し、青少年育成八王子地区会が共催するボランティア活動として、年２回隣接する「八王子公園」の花壇の整備と清掃活動に取り組んでいて、本活動は今年で 15 年目を迎えます。生徒が自主的に緑ある環境づくりを行う活動として、地域からの理解も深まり、生徒と地域の方が共同して行うボランティアの場として価値ある活動となっています。

この活動は埼玉県学校緑化コンクールにおいて平成 21 年に「良好校」令和元年に「優良校」を受賞し、生徒達の活動の励みになっています。